



2026年4月21日

各 位

会 社 名	サッポロホールディングス株式会社
代 表 者 名	代表取締役社長 時松 浩
コ ー ト 番 号	2501
上 場 取 引 所	東証プライム・札証
問 合 せ 先	経営企画部長 中村 洋輔
	TEL 03(5423)7407

米国事業における資産譲渡および生産体制の見直しに伴う

譲渡益ならびに減損損失の計上に関するお知らせ

サッポロホールディングス株式会社（以下「当社」）は、本日開催の取締役会において、当社の連結子会社である Stone Brewing Co., LLC（以下「Stone 社」）が保有する Stone ブランドに係る知的財産権およびホスピタリティ事業に関連する資産等の譲渡、ならびに米国事業の生産体制の見直しを行うことを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本件に伴い譲渡益を計上する一方、減損損失等を計上する見込みとなりましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 資産譲渡および生産体制の見直しの理由

当社は、北米を海外事業における重要な成長市場と位置付け、グローバル展開の強化を進めております。これまでの開示のとおり、当社は米国事業においてサッポロブランドのさらなる成長を軸とした事業拡大を基本方針としており、2022年6月24日付の開示においては、米国のクラフトビール会社である Stone 社の持分取得を決議し、同社が米国東西に保有する生産拠点を活用することで、米国市場におけるサッポロブランドの成長加速および北米事業の拡大を図る方針を公表してまいりました。

しかしながら、その後の米国市場においては、インフレによる物価上昇や消費者嗜好の多様化等を背景に、ビール市場全体の総需要が減少傾向にあるほか、競争環境の激化やコスト上昇などにより、事業環境は一層厳しさを増しております。一方、このような環境下においても、サッポロブランドは米国市場において堅調に売上成長を継続しております。

当社としては、このサッポロブランドを中心としたビール事業へ経営資源を集中し、同ブランド

の成長をさらに加速させることが、米国事業の持続的な成長および収益力の改善に資するとの判断に至り、米国事業における事業構成および経営資源配分の見直しを進めてまいりました。

この方針のもと、Stone 社が保有する Stone ブランドに係る知的財産および同ブランドに関連するホスピタリティ事業資産（Bistro、Tap Room 等）については第三者へ譲渡することとしました。

また、米国事業の生産体制の最適化に向けた検討の結果、サッポロブランドを中心としたビール事業へ経営資源を一層集中させる方針のもと、米国東部に所在する Richmond 工場（以下「RVA 工場」）をサッポロブランド製品の中核生産拠点と位置付け、米国内の生産を同工場に集約することとしました。これに伴い、米国西部に所在する Escondido 工場（以下「ESCO 工場」）におけるサッポロおよび Stone ブランドのビール製造については、年内を目途に停止いたします。

本集約により、生産効率の向上および製造固定費の削減を図り、米国事業における収益力の改善を進めてまいります。なお、ESCO 工場に係る資産のうち、製造設備および建物付属設備等については、今後の使用見込み等を踏まえ、資産の見直しを行います。

これら一連の施策は、当社における経営資源の集中および米国事業の効率的な運営を実現し、中長期的な企業価値の向上に資するものと判断しております。

2. Stone 社の概要

(1) 名 称	Stone Brewing Co., LLC
(2) 所 在 地	1999 Citracado Parkway, Escondido, CA 92029 USA
(3) 代表者の役職・氏名	CEO, Zachary Keeling
(4) 事 業 内 容	ビール類の製造販売等
(5) 資 本 金	180,682 千米ドル (2025 年 12 月 31 日時点)

3. 譲渡対象資産

区分	内容	譲渡益
有形固定資産	ホスピタリティ事業に係る資産（Bistro、Tap Room 等）	約 23 百万米ドル
無形固定資産	Stone ブランドに係る商標権、ノウハウ等	

注 1：帳簿価額および譲渡価額については、守秘義務により開示は控えさせていただきます。

注 2：譲渡益は、譲渡価額から帳簿価額および譲渡に係る費用等の見積額を控除した概算額であります。

4. 譲渡先の概要

(1) 名 称	Firestone Walker, Inc.（代表会社）および同社と同一の親会社である Duvel Moortgat NV の連結米国子会社	
(2) 所 在 地	1400 Ramada Dr. Paso Robles, CA 93446 USA（代表会社）	
(3) 代表者の役職・氏名	CEO, Nick Firestone（代表会社）	
(4) 事 業 内 容	ビール類の製造販売等（代表会社）	
(5) 上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	該当事項はありません。
	人 的 関 係	該当事項はありません。

	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

注3：本資産の譲渡契約は、上記代表会社および同社と同一の親会社である Duvel Moortgat NV の連結米国子会社との間で締結されております。

5. 日程

(1) 取締役会決議日	2026年4月21日
(2) 契約締結日	2026年4月21日
(3) 資産譲渡実行日	2026年5月（予定）

6. 今後の見通し

本資産譲渡および生産体制の見直しに伴い、当社は2026年12月期第2四半期に、譲渡益として約23百万米ドル（約36億円、1米ドル=157円換算）を計上する一方、ESCO工場に係る資産のうち、製造設備および建物付属設備等について帳簿価額を回収可能価額まで減額すること等により、減損損失等として約80百万米ドル（約126億円、同換算）を計上する見込みです。

なお、2026年12月期の連結業績予想につきましては、一定の構造改革費用を織り込んでいるため、本件が連結業績予想に与える影響は軽微であると見込んでおります。

今後、開示すべき事項が生じた場合は速やかにお知らせいたします。

以上



SAPPORO

米国事業における資産譲渡および生産体制の見直しに伴う 譲渡益ならびに減損損失の計上 適時開示補足説明資料

※本資料中で使用する略称・用語について

ESCO工場: Escondido工場 RVA工場: Richmond工場
サッポロブランド: Sapporo Premium Beer(SPB)が主力製品

2026年4月21日

サッポロホールディングス株式会社(2501)

URL: <https://www.sapporoholdings.jp>

- 米国ビール市場における需要減少が進行する中、サッポロブランド(SPB)は堅調な売上成長を継続
- 米国事業の持続的な成長および収益力改善のため、Stoneブランドに係る知的財産権およびホスピタリティ事業資産を譲渡し、サッポロブランドへ経営資源を集中することを決定

米国事業 の現状

- ◆ 2024年度の減損損失計上後、コスト構造改革による立て直しに取り組んでおり、当初計画に対して前倒しで進捗
- ◆ コスト構造改革の進捗およびサッポロブランドの成長により、2026年度にはマイルストーンとして設定したEBITDA黒字化を見込む
- ◆ 加えて、早期立て直しおよび外部環境変化への対応のため、「さらに踏み込んだ構造改革」についても並行して検討を推進

本意思決定に 至った 背景・経緯

- ◆ 米国ビール市場における需要減少の進行を背景に、事業環境は一層厳しさを増す
- ◆ 一方で、サッポロブランドは堅調な売上成長を継続しており、同ブランドへの経営資源集中が成長加速に資すると判断
- ◆ Stoneブランドについては、プロダクトポートフォリオの補完性および効率的な供給体制の観点から、Firestone Walkerをベストオーナーと評価し、同ブランドの譲渡を決定

本意思決定の概要および米国事業の今後について



≫ 本意思決定により米国事業の収益力改善を見込む。今後はRVA工場での米国現地生産・販売体制を維持しつつ、カナダを含めた北米全体での生産体制の最適化を図る

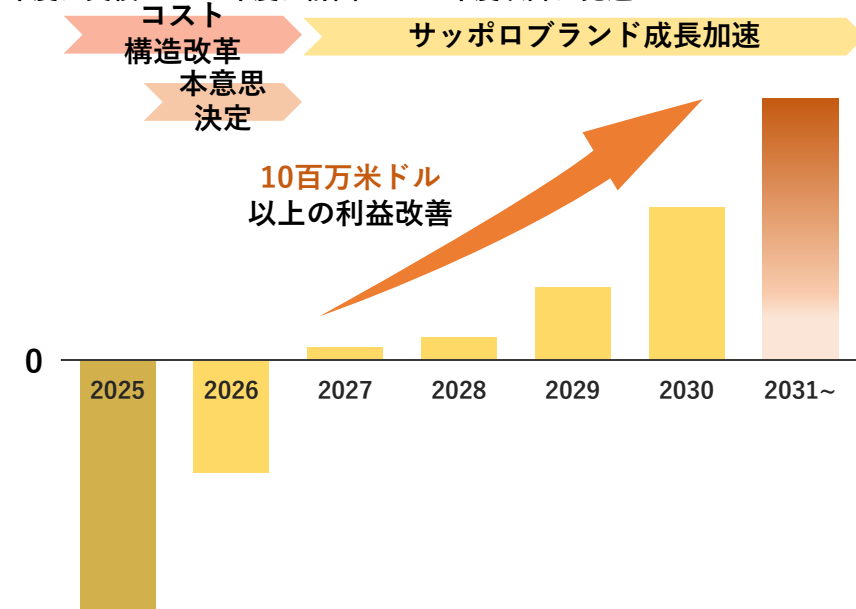
本意思決定の概要

決定内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 米国事業における資産譲渡および生産体制の見直し
譲渡対象資産	<ul style="list-style-type: none"> ■ Stoneブランドおよびホスピタリティ事業資産
譲渡先	<ul style="list-style-type: none"> ■ Firestone Walker, Inc.および同社と同一の親会社であるDuvel Moortgat NVの連結米国子会社
譲渡実行日	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2026年5月下旬(予定)
米国事業の今後について	<ul style="list-style-type: none"> ■ サッポロブランドへ経営資源を集中し、成長を加速 ■ ESCO工場は2026年内を目途にサッポロおよびStoneブランドのビール製造を停止。ESCO工場の製造設備等については使用見込等を踏まえ資産の見直しを実施予定 ■ 今後はRVA工場での生産・販売体制を維持しつつ、カナダを含めた北米全体で生産体制の最適化を図る
当期(2026年度)業績予想への影響	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上・事業利益への影響は軽微 ■ 第2四半期期間において譲渡益として約23百万米ドル(約36億円)を計上する一方、減損損失等として約80百万米ドル(約126億円)を計上予定 ■ 当期連結業績予想に一定の構造改革費用を織り込んでいるため、連結業績予想への影響は軽微

米国事業の今後の利益見通し(当社見込)

<米国事業の事業利益見通し(単位:百万米ドル)>

*2025年度は実績・2026年度は計画・2027年度以降は見通し



- ✓ サッポロブランドの成長加速および生産体制の最適化に伴う生産効率向上等により、米国事業の収益力改善を見込む
- ✓ 本意思決定により、2027年度において10百万米ドル以上の利益改善を見込む

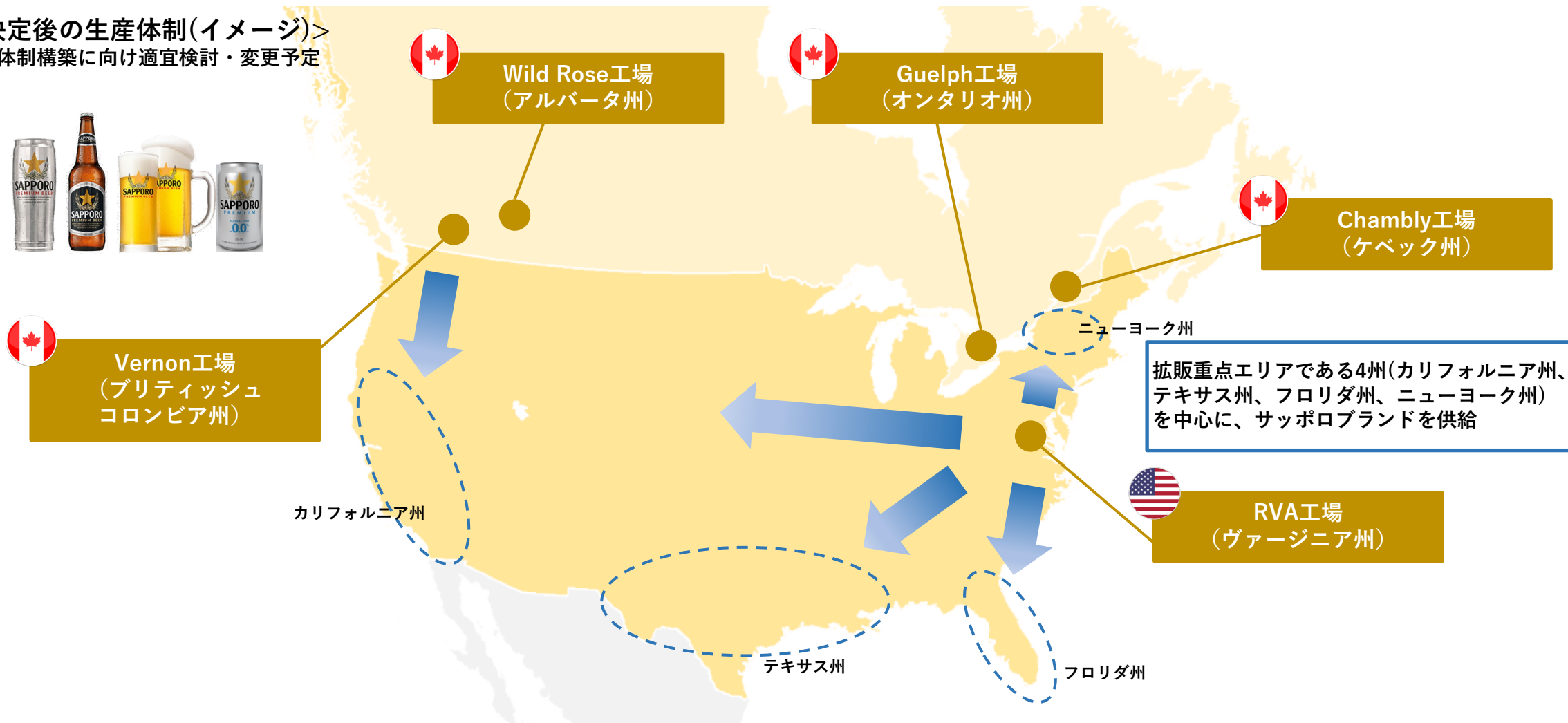
(参考)米国事業の今後の生産体制



» 米国東部のRVA工場に加え、カナダのSleeman社の4工場を補完的に活用。北米全体で生産体制を最適化し、米国市場向けにサッポロブランド(SPB)を供給する

<本意思決定後の生産体制(イメージ)>

*最適な生産体制構築に向け適宜検討・変更予定



潤いを創造し 豊かさに貢献する



本資料は、投資判断の参考となる情報提供のために作成されたものであり、投資勧誘又はそれに類する行為を目的としたものではありません。
また、本資料に記載された業績予測ならびに将来予測は、資料作成時点での弊社の判断であり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれています。

従って、将来実際に公表される業績等は、本資料に記載されている内容とは大きく異なる結果となる可能性があります。

弊社は、本資料の情報を使用されたことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありませんので、ご了承ください。